

# マルトミです

日頃の御愛顧に心より御礼申し上げます。



## お知らせ

☆春を前に、ショールームではミニ耕うん機の展示を始めました。畝立てや草削りに便利な作業機などいろいろご覧いただけますので、ぜひお出かけ願います。また除雪機も、昨年11月に発売されたばかりのホンダの新型機などを展示してあります。その他にもまだ若干在庫のある機種もございますので、どうかよろしくお願い致します。

☆3月8日(土)・9日(日)、春のスペシャル・デーを開催いたします。春の農業機械や家庭菜園用ミニ耕うん機などを中心に多数展示し特価で販売致しますので、消費税値上げ前のこのチャンスをどうかお見逃しなく。ただ、その頃には在庫切れでお届けが4月以降になってしまうものも出てくる可能性がございますので、もし今からお考えの商品などがございましたら、ぜひお早めにご相談願います。展示会と同じ条件で対応させていただきます。

### マルトミカレンダー (2月～4月) 赤色は休業日

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

降雪の状況により休日も臨時営業。

3月8・9日 春のスペシャル・デー。

4月21日より5月末までは休まず営業。



## 株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: [info@maru-takada.com](mailto:info@maru-takada.com)

ホームページ [www.maru-takada.com](http://www.maru-takada.com)

新潟県認定農業機械整備工場(大) ・ ヤンマー農業機械整備士工場 ・ ホンダ ベスト特約店

## ホンダの新型クロスオーガ除雪機が大好評です。

昨年11月に発売されたばかりのホンダ小型除雪機 クロスオーガ・JXタイプ。既にお使いいただいているお客様にご感想をお聞きしたところ、大変ご好評を頂きました。一番のポイントは、固い雪に対しても機体が浮かずしっかり食い込んでいくことです。これまでの、小型除雪機は手軽で使いやすいけれど固い雪には弱いというイメージを覆す画期的な商品で、今後人気を呼ぶことは間違いありません。

当社では3機種ある中のHSS970nJXを実演機としてご用意しておりますので、ちょっと使ってみてみたいと思われましたら是非お気軽にお試してください。



## ショールームの昆虫展示が変わりました。

1月よりショールームの昆虫の展示が変わりました。これは昨年夏に高田郵便局のロビーで行った「虫展」の作品を少しずつ展示しているもので、今回が第2弾になります。富取の標本と高橋桃子さんのイラストがあり、3か月毎に展示を変えて1年で終了の予定ですので、時々ご覧いただけたら幸いです。



## **ミニ耕うん機 点検・エンジンオイル交換のご案内**

お手持ちのミニティラー、ミニ耕うん機をリフレッシュしませんか。時期前に点検しておくことで、大きな故障を事前に防ぎ、機械の寿命も伸ばすことができます。今回、エンジンオイル交換を含む事前点検キャンペーンを実施いたしますのでどうかご利用下さい。

**なお、下記の料金は消費税抜きの金額となりますのでご注意願います。また4月以降は消費税がアップとなりますのでよろしくお願い致します。**  
お申込みは電話、FAX、メールなどをお願い致します。



**ミニ・ティラー(車軸耕うんタイプ) 料金 6,000円(お持込みいただくと4,500円)**

※ ホンダのこまめ、こまめパンチ、ヤンマーのマイティラー、他メーカーの同等品など

**ロータリー ミニ耕うん機 料金 8,000円(お持込みいただくと6,000円)**

※ ホンダのラッキー、サラダ、ヤンマーのポチシリーズ、他メーカーの同等品など

※ 金額に消費税は含まれていません。

### ＜点検調整項目＞

キャブレター内部 ・ プラグ ・ エアクリーナー ・ 燃料タンク内 ・ 耕うん爪 ・ オイルシール ・ ベルト関係(あるもの) ・ ワイヤ関係 ・ ミッションオイル ・ 各部の注油 ・ ボルト増締め ・ エンジンオイル交換(オイル代含む) 他

※ 点検の結果修理が必要な個所が見つかった場合は、別途お見積りさせていただきます。

## お知らせと御礼

1月10日に 当社会長 富取東榮が亡くなりました。葬儀に際しましては多くの方々にご参列いただき、眞に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

父は満92歳という年齢を感じさせないほど元気で、機能訓練センターで運動したり、亡くなる前日までお世話になった福祉施設へデイサービスに通うのを楽しみにしておりましたが、10日の早朝に突然倒れ、急性心筋梗塞との診断で治療を受けました。一時は意識を回復し小康に向かうように思われましたが、その後病状が急変しその日の午後、病院より連絡を受けた家族が駆けつける間もなく、あっという間に旅立ってしまいました。



撮影：小坂靖至氏

現役時代の父のことを想いますと、とにかく「人が好き」「新しい物好き」そして「会社が好き」の三つに尽きるように思います。そして並はずれたパワーと持ち前の進取の気性で、農業の機械化という変革の時代を精一杯生き、同じく販売を開始した消防々災機器とあわせて、良いお客様とメーカーの皆様のお力に支えられながらパートナーだった母、茂子と共に現在の会社の基礎を築きました。

平成9年に会社がここ西田中企業団地へ移転してからは、持ち前の明るさと人なつっこさで、地元の方々との交流を何よりの楽しみとしておりました。故人が毎日のようにお邪魔した西田中の皆様には公私に渡り大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、生前父に賜りましたご厚誼に対し深く感謝申し上げます。有難うございました。

(株)マルトミ 専務取締役

富取 朔 (長男)

## おかげさまで創業100周年

弊社は、大正3年に丸富商会として会社を設立以来、今年で創業100年目を迎えました。これほどの長きにわたって会社を存続させて来れたのはひとえに皆様の御支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

これを期に、また新たな100年に向けて全員で力を合わせて頑張っていりますので、どうか今後共変わらぬ御引立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

フクジュソウ 雪の中から咲く黄金の花

その名もお目出度い福寿草(フクジュソウ)、お正月の床の間飾りの定番としておなじみの花ですが、野外で実際に咲いているのを目にした方は少ないと思います。そういう私も野外で見たのは植物に興味を持ち出してからずっと経ってからのことでした。

まだ国道18号線が整備される前、県境の橋を越えカーブが続く急坂を登りきった台地の端、まだ残雪のある落葉樹の林。目を移すとそこには黄金色の花の洪水、初めて見るフクジュソウの大群生が広がっておりました。はじめはタンポポの類かと思ったのですが黄色にほんの少し緑色を混ぜた色、光沢がある花の姿はすぐそれと判りました。細かく切れ込んだ濃緑の葉も美しく、予期せぬ出会いに感動した思い出です。

フクジュソウは北海道から九州、四国の一部まで広く分布するきんぼうげ科の多年草ですが、上越では長野県境に近い地域に見られます。妙高高原では不思議なことに関川を挟んで新潟県側には見られません。理由は謎ですが大昔にまで遡る地史的な要因によるのでしょうか。

分布の広さに比べ、地方での名前は意外なほど少なく、関東でガンジツソウ、東北でツチマンサグ、マンサグ(先ず咲く)などごくわずかに記録されているだけ。これは食用として利用されないことからきているかと思いますが、フクジュソウという佳名の拡がるのが早かったというのが最大の理由でしょう。

関東などでは旧暦の正月に当たる頃に開花するので、黄金色の花の咲くお目出度い花とされ、つぼみのついた物を地面から掘り揚げて小さな鉢に植え「床の間飾り」にする習慣が江戸時代、それもわりに早いころから広まったようです。元禄時代直前1681年に刊行された最古の総合的な園芸書「花壇項目」に出るのが最初といわれますが、そこは日本の園芸ルネッサンスとも言うべき江戸時代、時代が下るにしたがって、数、種類共に増えて、赤花や白花、八重咲きなど150種以上のさまざまな園芸品種が作られるまでになりました。現在ではそれらの多くが絶えてしまい、一部が古典園芸植物としてわずかに栽培されているのみです。人気が高まると共に、江戸近郷で桑畑の下に植えられ、養蚕の盛んだった川越や青梅などでの栽培が多かったようです。

園芸店で今も人気のフクジュソウですが、ただ小さな鉢に植えてあるため、根が少なく、花が咲いた後枯れてしまうことが多いので注意が必要です。花を見た後はなるべく早く大きめの鉢に植え替え、肥料と水をたっぷり与えてやるのが、毎年花を咲かせるコツです。



残念なことです。人目につく花だけに片っ端から掘り取られてしまい、野生のものはどの産地でも絶滅か、それに近い状態です。雑木林なども開発の対象となることが多く、私が出会った思い出の場所も、数年を経ずして倉庫が建てられ、消えてしまいました。また、好きな植物を入手したいという気持ちは誰でも同じでよくわかります。でも結果として種そのものの消滅に繋がることを思えばおのずと答えは明らかでしょう。(ハ)